

# 学会ニュース

(No. 55 / 2019. 6)

事務所 〒162-0808 東京都新宿区天神町 78 TEL&FAX 03-3267-0200  
学会公式サイト <http://www.keiei-gakkai.jp/> E-Mail [jaba@keiei-gakkai.jp](mailto:jaba@keiei-gakkai.jp)

日本経営学会第93回大会予告..... 1	経営関連学会協議会の活動(2018年度)について..... 3
日本経営学会 第94回大会情報..... 2	日本経済学会連合(英文年報第39号)について..... 4
日本経営学会メーリングリスト【JABA-ML】	J-STAGEへの『経営学論集』ならびに
登録のお願い..... 2	『日本経営学会誌』の対応について..... 4
機関誌編集委員会からのお知らせ..... 2	学会HPへの「学会ニュース」の
『日本経営学会誌』の制作・	アップロードについて..... 4
販売元(出版社)の変更について..... 3	事務連絡事項..... 4
倫理委員会の活動について..... 3	

## 日本経営学会第93回大会予告 2019.9.3~6 於:関西大学・千里山キャンパス

日本経営学会第93回大会は、2019年9月3日(火)~6日(金)(ただし、9月3日は常任理事会・理事会・各種委員会のみ開催)の日程で関西大学・千里山キャンパス(〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号)を会場に開催されます。本大会の統一論題は、「働き方改革」に経営学はどう応えるか~日本人の働き方の過去・現在・未来を考える~です。

昨年6月「働き方改革」関連法案が可決され、そこにおける2本の柱は、(1)同一労働・同一賃金など非正規雇用への格差的処遇の解消と、(2)長時間労働の是正でした。「働き方改革」は、前回第92回大会「日本的経営の現在-日本的経営の何を残し、何を残すか-」でも論じられましたが、雇用の問題は日本的経営の根幹をなし、「日本的経営の何を残し、何を残すか」というサブテーマでは、議論の中心は日本型人事システムでした。今大会の統一論題では、こうした前年度の問題の一部を共有し引き継ぎながらも、働き方改革に焦点を当てることで、日本人の働き方・生き方はいかなるものであったのか、経営学はこれをどのようにとらえ、評価し問題視してきたかをあらためて問い直すとともに、日本における働き方改革の本質的課題、働き方改革が真に成功するための条件を考えていきたいと考えています。サブテーマとして、①「正規・非正規の格差問題に経営学はどう応えるか」、②「ワーク・ライフ・バランスに経営学はどう応えるか」、③「AI時代の働き方改革・人材育成に経営学はどう応えるか」を立てて議論します。また、自由論題、英語セッション、ワークショップも従来通りに設定されています。

「働き方改革」は、日本企業・社会に大きな影響を与えると共に、経営学研究のみならず、企業に人材を送り込む役割・機能を果たす我々にとって、どのような教育をしてゆかねばならないかという教育にも関わる重要なテーマです。多くの会員の皆様の参加を期待しております。

(第93回大会プログラム委員長 三戸 浩)

## 第93回大会委員長からの一言

日本経営学会第93回大会を、2019年9月3日(火)~9月6日(金)の日程で、関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市)で開催させて頂くことになりました。関西大学での開催は、第48回(1974年)、第71回(1997年)について3回目となります。前回大会時、森田雅也理事と私は大会事務局を担当していました。当時は日本経営学会開催にふさわしい大教室がなく、参加いただいた皆様方にご不便をおかけし、申し訳なく思っております。今大会は、統一論題および総会もゆったりとした会場をご用意でき、また、自由論題等の会場も比較的スムーズに移動していただけたと思います。懇親会についても学内施設を利用しますので、時間的なご不便をおかけすることもないと考えております。

蒸し暑く過ごしにくい大阪での夏の大会ではありますが、本学には日本経営学会の会員が多数おりますので、みんなで力を合わせ、大会運営準備と当日の運営にあたる所存です。

最後に、できるだけ多くの会員のみなさま方がご参加くださいますよう、心からお願い申し上げます。

(第93回大会委員長 廣瀬 幹好)

## 日本経営学会 第94回大会情報

日本経営学会第94回大会は、2020年9月（日程の詳細は未定）に慶應義塾大学（セッション会場：三田キャンパス 千108-8345 東京都港区三田2丁目15-45）にて開催の予定です。大会は従来通り3日間とし、大会前日には常任理事会・理事会・各種委員会を予定しております。第94回大会プログラム委員会には、田淵泰男（東日本代表）、榊原研互、菊澤研宗、田中一弘、勝部伸夫の各委員が理事会選出委員として、また幹事として三井泉委員が参加し、主催校である慶應義塾大学からは大会委員長の菊澤委員に加えて事務局・橋本倫明委員が参加いたします。現在、プログラム委員会において統一論題テーマの検討に入っているところです。また、自由論題や英語セッション、ワークショップに関しても検討し、会員の皆様に関心を持って頂けるような時間枠や内容になるようにしたいと考えています。

2020年は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が7月から9月にかけて開催されます。そちらと日程的に近くなりそうですが、多くの会員の皆様が参加したいと思っただけのプログラムをご提示できればと考えております。宜しくお申し上げます。

（第94回大会プログラム委員長 勝部伸夫）

## 日本経営学会メーリングリスト【JABA-ML】登録のお願い

2017年8月31日の会員総会において、日本経営学会全国版メーリングリスト（JABA-ML）の構築と運用が承認され、会員諸氏の積極的なご協力により、2018年度より学会ニュースや部会開催情報をメーリングリストにより配信することになりました。厚く御礼申し上げます。

メーリングリストへの登録希望の会員各位には、学会ホームページより登録していただけますようお願いいたします。また、メールアドレス等を変更される場合には、学会ホームページの「会員情報の変更について」より「日本経営学会会員情報変更届」に必要な事項をご入力ください。ご不明の点等は学会事務所にメールまたは電話にてご連絡いただけますようお願いいたします。

今後ともJABA-MLによる学会情報の適時・的確な発信、部会情報の共有化等に一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

（広報担当常任理事 岩波 文孝）

## 機関誌編集委員会からのお知らせ

### (1) 機関誌編集・刊行状況

2019年3月25日付で『日本経営学会誌』第42号を発行しました。著者、査読者、編集委員の皆様にご感謝申し上げます。2017年1月-2018年12月の投稿論文審査状況は次のとおりでした。2017年1-12月の投稿数は40本、採択率は30.0%、平均審査日数は146日。2018年1-12月の投稿数は24本。

2017年1月-2018年12月の書評希望図書審査状況は次のとおりでした。2017年1-12月の申込数は6本、採択率は50.0%。2018年1-12月の申込数は6本、採択率は66.7%。

J-STAGEには第1-37号が搭載されております。第38号以降の搭載が遅れており、申し訳ございません。搭載に向けて現在、準備中です。2018年1月-2019年3月のアクセス数（全文PDF）は表のとおりです。2018年1-12月の月平均アクセス数は1785記事。掲載論文著者の方で、ご自身の論文へのアクセス状況を知りたい方は加藤にお問い合わせください。

学会ホームページの「日本経営学会誌」のページに、投稿規定、執筆要領、書評掲載要領、応募宛先等を掲載しております。投稿申込書（書式）、書評対象候補図書推薦書（自薦・他薦）（書式）も掲載しておりますので、併せてご利用ください。

### (2) 検討中の事項

機関誌編集委員会では、編集業務にかかわる様々な問題をその都度、検討しておりますが、現在、特に次の2つの問題について、委員会全体で検討中です。2019年3月理事会において、これについて中間的な報告をしたところ、検討を継続し、成案をまとめて7月理事会に提出してほしいとの意向表明がありました。会員の先生方からもご意見をいただければ幸いです。

①学位論文を二重投稿の対象とするかどうか。近年、研究者による学位取得が一般的となり、また学位論文の一般的な公表方式が印刷公表からインターネット公表に移行したことと関係して、「学位論文の全部または一部と本質的に同じ論文」が『日本経営学会誌』に投稿された場合、二重投稿とみなすかどうか、という問題が浮上してきました。

②投稿論文の字数制限の適否について。近年、研究方法が多様化し、ある種の研究においては2万字（12.5ページ）という字数制限が窮屈に感じられるようになっており、他方では印刷技術が発展し、多少の字数（ページ数）の増大はコスト上の問題とならなくなっております。しかし、冗長な論文は論点を不明確にします。

（機関誌編集委員会委員長 加藤 志津子）

## J-STAGE における「日本経営学会誌」へのアクセス統計

年月	総記事		第 37 号記事	
	記事数 (掲載号)	アクセス数 (全文 PDF)	記事数	アクセス数 (全文 PDF)
2018年1月	617 (1-37号)	1527	12	181
2018年2月	617 (1-37号)	943	12	97
2018年3月	617 (1-37号)	1052	12	125
2018年4月	617 (1-37号)	1552	12	168
2018年5月	617 (1-37号)	1970	12	192
2018年6月	617 (1-37号)	2366	12	182
2018年7月	617 (1-37号)	2425	12	163
2018年8月	617 (1-37号)	1719	12	189
2018年9月	617 (1-37号)	1817	12	238
2018年10月	617 (1-37号)	1736	12	162
2018年11月	617 (1-37号)	1844	12	142
2018年12月	617 (1-37号)	2469	12	215
2019年1月	617 (1-37号)	1680	12	212
2019年2月	617 (1-37号)	1142	12	113
2019年3月	617 (1-37号)	1536	12	214
計		25778	12	2593

注) 記事数には、論文、書評だけでなく、目次、編集後記等も含む。

## 『日本経営学会誌』の制作・販売元(出版社)の変更について

この間検討を進めてまいりました『日本経営学会誌』(2019年9月開催の第93回大会〔第90集〕以降の冊子版『経営学論集』を含む)の制作・販売元(出版社)が、2019年3月開催の常任理事会、理事会において承認されました6社による入札の結果、中央経済社に決定いたしました。『日本経営学会誌』は第43号より中央経済社より出版されます。これにより、『日本経営学会誌』はクォーター化も可能であることをご報告申し上げます。後述していますように、J-Stageへの対応体制も確立しました。これまで以上に多くの会員が『日本経営学会誌』に投稿していただけることを期待しています。

(理事長 百田 義治)

## 倫理委員会の活動について

2018年9月に倫理綱領が改正されました。改正点の一つは、二重投稿の禁止を明示したことです(倫理綱領「Ⅲ-1-6」)。その後、倫理委員会においては「二重発表」の是非について検討中です。2019年3月理事会において、これについて中間的な報告をしたところ、検討を継続し、成案をまとめて7月理事会に提出してほしいとの意向表明がありました。会員の先生方からもご意見をいただければ幸いです。

やや具体的に申しますと、「すでに出版あるいは口頭発表の形で公表したものと本質的に同じ報告を、日本経営学会の部会・大会で口頭発表することは許されるのかどうか」という問題です。参加者は「二重発表」に遭遇した場合、失望するかもしれませんが、報告者は類似の内容であっても異なる発表機会を得ることにより多様なコメントを得て研究を発展させることができるかもしれません。慎重に議論を進めたいと思います。

(倫理委員会委員長 加藤 志津子)

## 経営関連学会協議会の活動(2018年度)について

経営関連学会協議会は、2018年6月4日(「組織の活性化とイノベーションを促進するダイバーシティ・マネジメント」と)と2018年11月12日(「地域創生を活性化するオープンソーシャル・イノベーションと人材育成」)に公開パネルディスカッション・公開シンポジウムを開催し、2019年3月16日にはワークショップ「日本学術会議経営学委員会との意見交換と今後の連携を考える」を開催しました。また、電子版英文ジャーナル「Journal of Japanese Management」(ISSN2189-9592)はVol. 2, No. 2(2018年5月)、Vol. 3, No. 1(2018年11月)、Vol. 3, No. 2(2019年5月)が刊行されました。今後も引き続き投稿原稿が募集されています。投稿を希望される会員は、経営関連学会協議会のホームページ(<http://www.jfmra.org/>)をご参照ください。日本経営学会のホームページにも経営関連学会協議会へのリンクが設定されていますので、ご活用ください。

(理事長 百田 義治)

## 日本経済学会連合(英文年報第 39 号)について

日本経営学会は、2019 年 12 月 WEB 発刊予定の日本経済学会連合『英文年報』第 39 号への執筆担当学会となりました。『英文年報』第 39 号の編集委員および執筆委員として日本経済学会連合評議員岩波文孝が担当することになりました。

(日本経済学会連合委員 岩波 文孝)

## J-STAGE への『経営学論集』ならびに『日本経営学会誌』の対応について

日本経営学会の年報『経営学論集』と機関誌『日本経営学会誌』の J-Stage への対応作業が大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。2019 年 6 月末までには未搭載であったすべての『経営学論集』が J-Stage にアップロードされます。引き続き、7 月中には未搭載であった『日本経営学会誌』が J-Stage にアップロードされます。そして、今後は『経営学論集』を統合した『日本経営学会誌』が刊行後 1 年を経過すれば間断なく J-Stage に搭載されます。会員の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、J-Stage に対応できる体制がやっと確立されましたことをご報告申し上げます。これにより『経営学論集』『日本経営学会誌』はいずれも創刊号よりすべてが J-Stage でご覧いただけることになりました。

(理事長 百田 義治)

## 学会 HP への「学会ニュース」のアップロードについて

会員の皆様のご協力により「学会ニュース」がすべて (No. 1 [1992 年 4 月]～No. 54 [2018 年 12 月]) 日本経営学会ホームページに掲載されました。「学会ニュース」もまた日本経営学会の貴重な歴史的資料です。一昨年刊行されました『日本経営学会史』(昨年より、学会ホームページにて無料公開しています)と併せて、学会の歴史的な歩みが学会ホームページにおいてデータで利用できるようになりました(一部個人情報に該当する部分は公開資料では削除しています)。こうした取り組みは会員に向けた情報発信であると同時に、社会に向けた学会の情報発信でもあります。会員を含めた多くの人々に利用・活用されることを祈念しています。

(広報担当常任理事 岩波文孝)

## 事務連絡事項

\*会員情報の変更届に関するお願い

勤務先機関や住所など会員情報に変更がある場合には、日本経営学会ウェブサイト(<http://keiei-gakkai.jp>)の「会員情報の変更について」より「登録内容変更フォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。学会事務局よりご本人確認などをメールでさせていただきます。

\*日本経営学会ウェブサイトでは、学会に関するあらゆる情報(大会案内、各部会例会案内、入会資格・申込み用紙、学会ニュースなど)を掲載しておりますので、是非ご確認下さい。年 2 回発行の学会ニュースではカバーできない急ぎの事項も随時掲載いたしますので、折にふれてご確認いただければ幸いです。

\*学会費について

日本経営学会の学会費は、一般会員 10,000 円、シニア会員 5,000 円です。会費納入に関する口座番号等の情報につきましては学会ウェブサイト「会費納入について」をご覧ください。

(事務所幹事 島貫智行・藤原雅俊)

〒162-0808 東京都新宿区天神町 78  
日本経営学会事務所  
担当 村上真紀  
TEL・FAX : 03-3267-0200  
jaba@keiei-gakkai.jp